

SDGsに関する独自性のある取組シート

(1) SDGsに関する、貴社の独自性のある取組について、下記の評価項目にご留意のうえ記入してください。

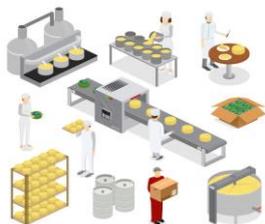
当社は、食品加工機械の設計・製作を行っています。当社の機械設備を利用いただいている企業の食品加工工場では、毎日大量に野菜や魚などの製品としては使えない部分が廃棄物として出ていることに着目し、これらを何とか再利用できないかと考え、未利用資源を生かした開発を専門に行う事業部を新たに設置しました。

自然のモノを100%有効に使うことをテーマとして設定し、水産物・農産物・林産物の残渣や廃棄物から、健康食品・製菓原料や化粧品原料の開発・製造を行い、未利用資源の有効活用を目指して取り組んでいます。

具体例として、普段は何気なく捨てられている魚のウロコから、コラーゲンを効率良く抽出する新技術の開発に成功し、健康食品業界をはじめ高い評価をいただいています。このコラーゲンを生かした健康食品や化粧品を開発・製造するため、2020年と2021年に新たに自社工場を設立し、新規雇用の創出にも貢献しています。

さらに、社員を守り暮らしの充実を図るため、いち早く定年年齢を60歳から70歳に引き上げ、地域社会の活性化にも貢献しています。

【開発した製品の製造ライン】



【自社工場】



(2) (1) の取組の今後の展開について記入してください。

※なるべく数値を用いる等して、具体的に記入してください。

今後も、残渣や廃棄物など、未利用資源を生かした商品・原料の開発に取り組んでいきます。しかしながら、廃棄物などの削減に貢献できる一方で、工場などの消費電力の増大が懸念されます。

そこで、自家消費型のソーラーパネル発電設備を令和6年度中に設置し、CO₂全体排出量の20%削減を目指します。また、令和7年度までに雨水回収システムを開発し、トイレ用水・工場床洗浄水としての利用するなど、新たな取組にも着手します。

さらには、各工場から2名ずつ選出してSDGsプロジェクトメンバーを立ち上げ、自社の働き方改革を中心とした目標・取組を設定するとともに、経過発表会を行い、全社員に取組の輪を拡げ、より一層働きやすく、やりがいのある会社を目指します。

【CO2排出量削減計画】



【SDGsプロジェクト】



※ 評価項目

- ①先進性：他の事業者等に対して幅広くロールモデルとなり得る取組であるか
- ②持続可能性：持続性・発展性が見込める取組であるか
- ③社会貢献性：地域社会への貢献に繋がる取組であるか
- ④総合性：経済・社会・環境の各分野の課題に効果のある取組であるか
- ⑤透明性：自社の取組について、定期的に評価・公表しているか